

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和2年 10月5日

愛知県知事 殿

提出者
住所 愛知県安城市藤井町10番地
氏名 アイシン・エイ・ダブリュ株式会社
取締役社長 尾崎 和久
電話番号 0566-73-1219

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 本社工場
事業場の所在地	愛知県安城市藤井町10番地
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	輸送用機械器具製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 16,758億円(全社)
③ 従業員数	22,196人(全社)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(別紙1のとおり)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項										
(管理体制図)										
(別紙2のとおり)										
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
① 現状	【前年度（平成31年度）実績】 (単位:ton)									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	金属屑	木屑	ガラス・陶磁器屑	廃アルカリ	廃酸	合計
	排出量	3,857	946	665	395	27	24	27	0	5,941
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・工程内リサイクルの推進 ・廃プラスチック・廃油リサイクルの推進 ・発生抑制を考慮した製造方法の検討 									
② 計画	【目標】 (単位:ton)									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	金属屑	木屑	ガラス・陶磁器屑	廃アルカリ	廃酸	合計
	排出量	4,243	1,041	732	435	30	26	30	5	6,542
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチック・廃油リサイクルのほか、使用済のウエスリサイクルの推進 ・新規排出抑制アイテムの調査、検討 									
産業廃棄物の分別に関する事項										
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・埋立廃棄物ゼロを基本として、発生廃棄物を有価物、逆有償リサイクル、社外中間処理に分けて分別を行っている。 									
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・前年取組みの継続 									

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3,627 t	— t
	(これまでに実施した取組) ・遠心脱水機を導入（平成15年）し、汚泥減容化 ・水溶性油脂の使用量低減活動		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3,990 t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・水溶性油脂の使用量低減活動継続 ・廃油の排出量低減&リサイクルの推進		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

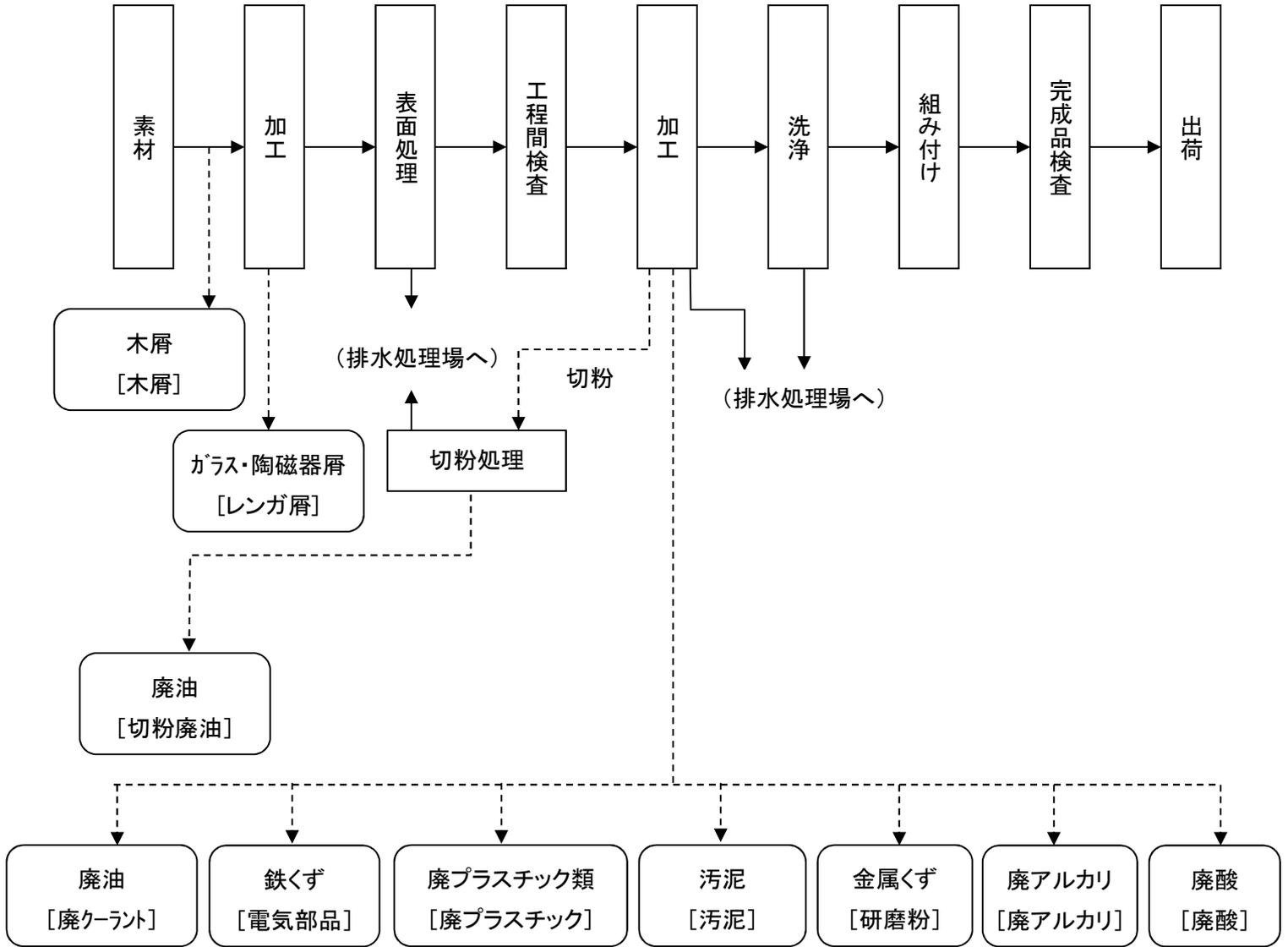
【前年度（平成31度）実績】 (単位: ton)										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	金属屑	木屑	ガラス・陶磁器屑	廃アルカリ	廃酸	合計	
全処理委託量	230	946	665	395	27	24	27	0	2,314	
優良認定処理業者への処理委託量	230	945	589	395	27	3	27	0	2,216	
再生利用業者への処理委託量	19	529	344	395	27	24	27	0	1,365	
認定熱回収業者への処理委託量	0	282	0	0	0	0	0	0	282	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	211	135	321	0	0	0	0	0	667	
(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約を締結する ・処理業者が適正な処理を実施しているかどうか定期的に確認する 										

(第5面)

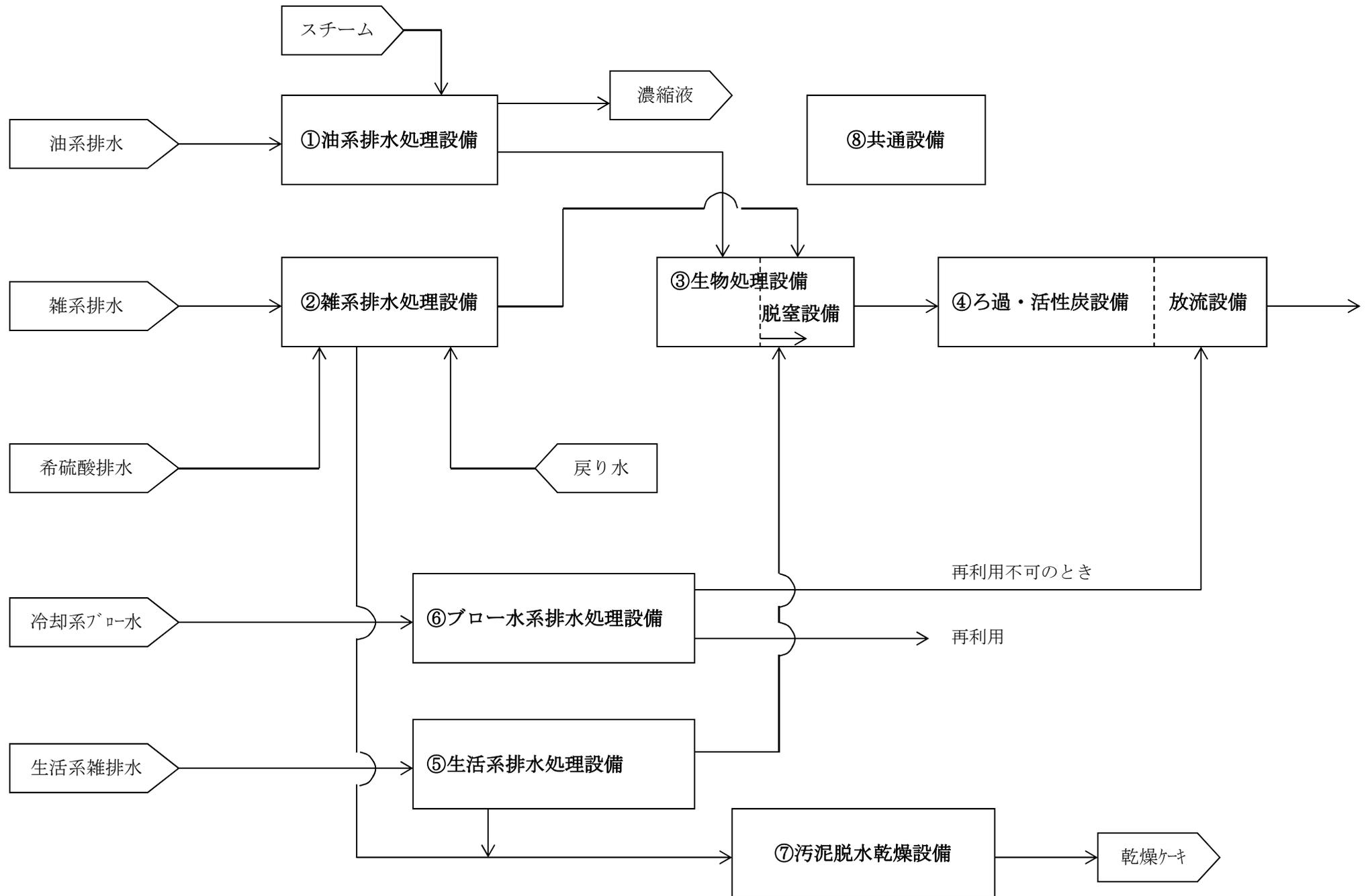
		【目標】 (単位:ton)								
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ	金属屑	木屑	ガラス・陶磁器屑	廃アルカリ	廃酸
②計画	全処理委託量	253	1,041	731	434	30	26	30		2,545
	優良認定処理業者への処理委託量	253	1,041	648	434	30	3	30	0	2,439
	再生利用業者への処理委託量	21	582	378	434	30	26	30	0	1,501
	認定熱回収業者への処理委託量	0	310	0	0	0	0	0	0	310
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	232	149	353	0	0	0	0	0	734
	(今後実施する予定の取組) ・前年取組みの継続 ・使用済のウエスリサイクルの推進									
※事務処理欄										

(別紙1 補足資料)

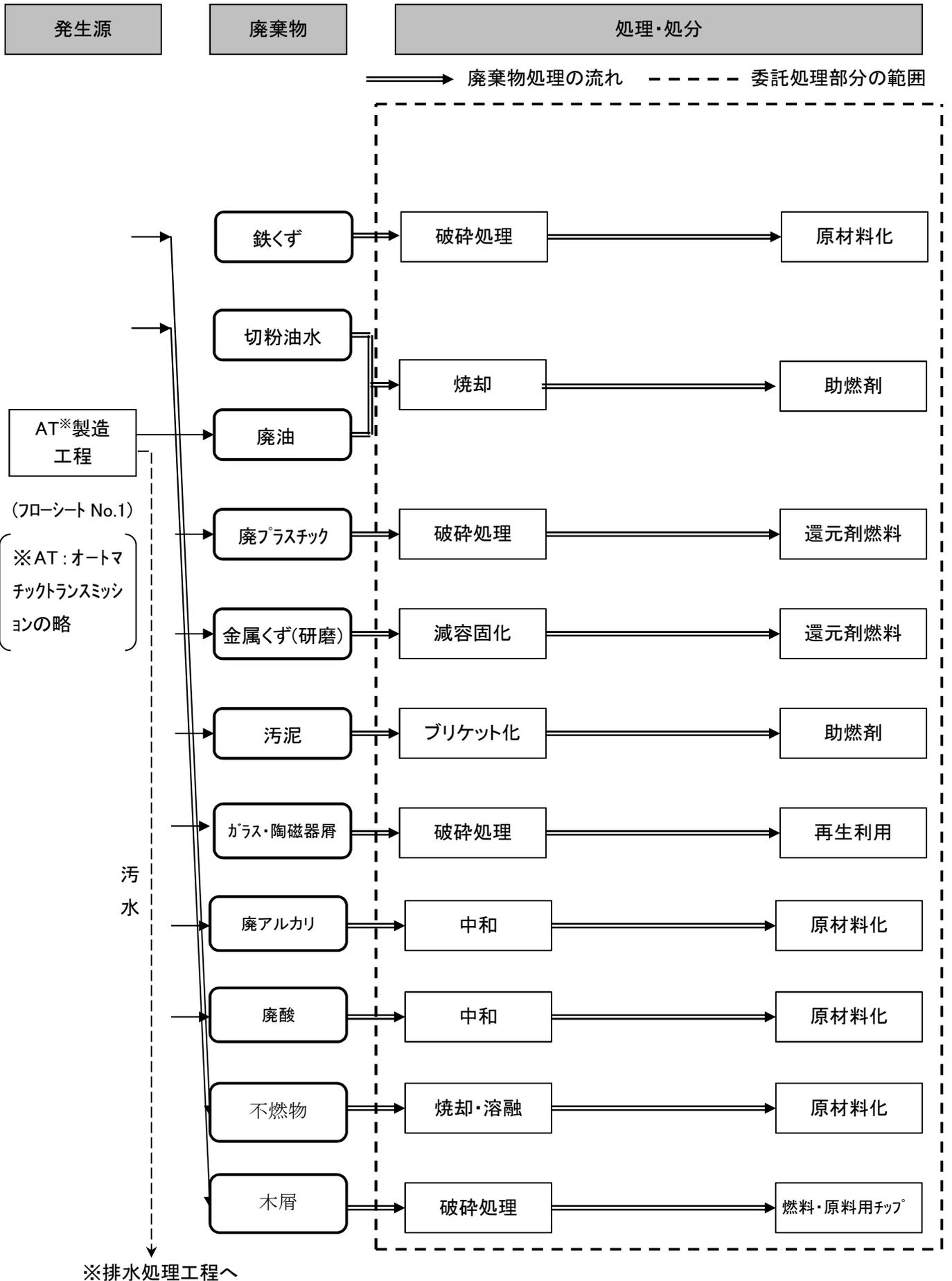
AT製造フローシート(No.1)



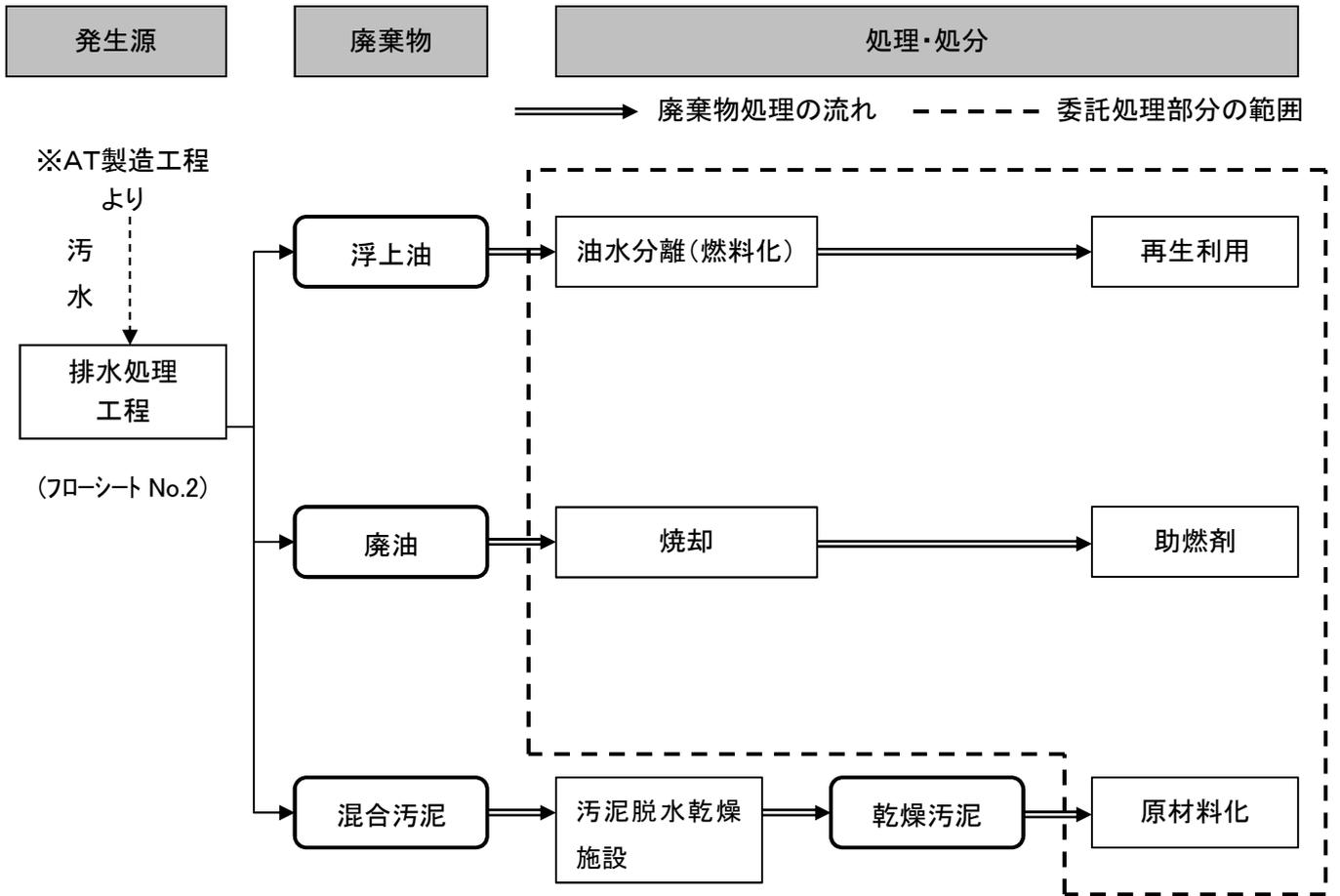
(別紙1 補足資料) 排水処理フローシート(No.2)



(別紙1) 産業廃棄物の一連の処理の工程



(別紙1) 産業廃棄物の一連の処理の工程(つづき)



(別紙2) 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 責任者及び管理組織図

環境委員会委員長		代表取締役副社長
産業廃棄物処理責任者		安全環境部部长
特別管理産業廃棄物管理責任者		安全環境部担当員
産業廃棄物処理施設技術管理者		施設部
廃棄物担当部門 (安全環境部)		組織名 : 安全環境部 環境保全グループ 組織人数 : 9人
役割	環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物低減計画の承認・フォロー ○ 廃棄物低減・リサイクル目標・活動計画案の作成・実施状況チェック ⇒ 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な 廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・ 委員長: 副社長 副委員長: 機能管掌役員 ・ 委員: 公害防止管理者、関連部門長 《事務局: 安全環境部》
	廃棄物処理施設 技術管理者	○ 廃棄物処理施設の維持管理に関する技術的な確認
	特別管理産業 廃棄物管理責任者	○ 特別管理産業廃棄物の処理に関する専門的な確認
	廃棄物担当部門 (安全環境部)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境委員会(廃棄物リサイクル分科会)運営 ○ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討・低減活動の推進 ○ 処理業者、再生利用業者の調査、選定、管理 ○ 委託契約の締結 ○ 産業廃棄物管理票の交付・管理 ○ 監督官庁への各種報告 ○ 社員、関連会社に関する教育・啓発 ○ その他関係する事項

(2) 管理体制の強化

①管理体制(組織)

工場内の各部署と協力し、環境保全活動を推進するための横断的な組織(環境委員会)を編成、これには、環境管理責任者(専務取締役)及び関連部門の参画を図る。又、本委員会内に「廃棄物・リサイクル分科会」を設置し、廃棄物低減活動の計画策定及び進捗状況の管理等を実施し廃棄物低減、再生利用活動を推進する。

②管理方法

環境マニュアル、環境管理規定及び廃棄物管理要領等の作成・運用について検討する。

(3) 教育・研修

発生する廃棄物の種類、発生状況、処理方法、処理に関する留意事項を整理し、従業員等に定期的に教育等を行う。

教育名	対象	主な教育内容
階層別教育	新任主事	・ISO14001 に基づく環境保全活動全般 (廃棄物管理のルール、廃棄物発生状況、分別ルール等を含む)
	新任主事補	
	新任職長	・廃棄物発生状況、分別ルール等
新入社員教育	定期新入社員	・廃棄物発生状況、分別ルール等

(4) 情報公開

廃棄物処理に関する信頼性を確保するため、廃棄物の発生、分別、再生利用状況についての情報公開に努める。

また、毎年定期的に発行する環境報告書内に廃棄物低減活動状況についてもあわせて掲載する。

さらに、地域懇談会等を毎年開催し当社の環境に関する取組み状況の説明(廃棄物低減活動も含む)及び工場見学を実施し、相互の理解を深める。